



端午の節句



「端午の節句は5月5日にあたり、「菖蒲（しょうぶ）の節句」とも言われます。現代では、「菖蒲」を「尚武（しょうぶ）」という言葉にかけ、勇ましい飾りをして、男の子の誕生と健やかな成長をお祝いする日となりました。



菖蒲

菖蒲は昔から薬草として使われており、強い香りを放つことから邪気を祓う植物としても用いられます。

無病息災を願って湯船に菖蒲を浮かべた菖蒲湯に入ります。

柏の葉は、新芽が出ないと古い葉が落ちないため、家系が途絶えない様に願いを込めて食べられます。



柏餅



鯉のぼり

わが家に男の子が誕生したと天の神に告げ、「この子を守ってください」と守護を願って飾るようになりました。鯉が勢いよく滝を登る様子をイメージされています。